

このコーナーでは、病院施設や事業のほか、生活に役立つ“健康豆知識”などを紹介します。



病床運営コマンドセンター

マネージャー 伊藤 雅子

「病床運営コマンドセンター」について

市立長浜病院では、令和7年1月から「病床運営コマンドセンター」を新たに設置しました。その目的は、ベットコントロールを一元的に管理し、病床を効果的に運用させることで地域の医療ニーズに適切に応えることです。

コマンドセンターでは、医師、看護師、リハビリスタッフ、事務スタッフによる、多角的な視点から病床管理をおこなっています。

主な業務として、①入退院状況・空床状況を把握し、入院治療が必要となった患者様がスムーズに入院できるよう、救急・外来・病棟と連携したマネジメ

ントをおこなっています。②入院中の患者様の治療や回復過程を把握しながら適切な病床を選択すると同時に、今後を予測した退院支援につなげています。

また、在宅療養生活を送る患者様やご家族を支援する目的として、レスパイト入院（介護者の休息や、ご家族の都合により一時的に在宅介護が困難な場合の家族支援）、メンテナンシリハビリテーション入院（脳血管疾患や呼吸器疾患を患い在宅生活をされている人へリハビリを提供する短期入院の窓口として、地域の診療所や介護事業所等と連携をとり調整を行っています。これらの入院に関しては、かかりつけ医の先生やケアマネージャーにご相談ください。

これからも地域医療支援病院として、市民の皆様が住み慣れた地域で希望される医療サービスを受けられるよう、各診療所や病院との連携を推進し、地域全体の医療を支えてまいります。

問 市立長浜病院

☎ 68・2300（代表）

市長コラム③

ひとことぬし 一言主

浅見 宣義



長浜の未来図

ともに描く輝くまち

1. 過去から学び、未来へつなぐ
長浜市は、歴史的に自治を大切にしながら発展してきました。これまでも、市民の皆さんが力を合わせてまちを築き、支えてきました。しかし現在、少子高齢化や人口減少といった大きな課題に直面しています。こうした中で、今後も市が活力あるまちであり続けるためには、市民の皆さんとともに、未来の方向性をしっかりと描いていくことが大切です。

2. 未来図の作成

こうした思いのもと、「めざすまちの姿」を示す「未来図」を作成しました。この「未来図」は、令和9年度から始まる次期総合計画の基本的なコンセプトとなるものであり、今後、**長浜改革会議**をはじめ、市民の皆さんと議論を重ねながら、具体的な施策へとつなげていくことを目指しています。

3. 7つの輝きが生み出す長浜の未来

「未来図」では、自治の歴史から育まれた精神として「開かれた**シビックプライド**」を掲げています。これは、まちを自分たちで築いていこうという精神であり、かつ、地域の枠を超えて市内外の人々と手を取り合い、活動の質や広がりをもさらに高めていくこととする考え方です。

この長浜市の、背骨、とも言える「開かれたシビックプライド」という精神を改めて意識しながら、長浜ならではの資源を活かし、7つの重点分野「こども若者」「健康・医療・福祉」「歴史・自然・観光」「産業・文化」「安心・安全」「進取の気性」に力を注いでいきます。それぞれの分野を磨き上げるとともに、それらを織りなし、ハーモニーを生み出すことで、新たな輝きが広がっていくと考えています。

長浜特有の魅力をさらに輝かせ、市民の皆さんとともに誇れるまちを築いていきます。ともに、未来への第一歩を踏み出しましょう。



【未来図のイメージ】